

# みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

## TOPIC

竜巻!!台風!!突風に備える!!

### ～突風から身を守る行動を考えてみよう～

#### ●飛来物で窓ガラスが割れる危険も

いま竜巻をはじめとする突風による風災害が大きな問題となっています。過去の風速の記録としては、台風の通りやすい沖縄諸島や四国付近の記録が上位を占めていますが、竜巻や台風による風災害は日本全国各地どこで起こっても不思議ではありません。

突風が心配されたら、まずできるだけ頑丈な建物の中にいるように心がけましょう。そして、屋内にいても、突風や突風によって飛ばされたものによって窓ガラスが割れる危険もありますので、窓の近くには近づかないことが基本です。身を守るために右のようなことを参考にするとよいでしょう。

(( (( ( ( 竜巻が近づいてきたら ) ) ) ) ) )

#### ●屋外では

- ・近くにある、できるだけ頑丈な建物に避難する。時間がない場合は、建物の物陰に飛び込んで身をかがめる。
- ・周りに頑丈な建物がないときは、水路などの窪みに身を伏せて、両腕で頭と首を守る。
- ・倒れる危険性のある電柱や樹木から離れる。
- ・車庫、物置、プレハブなど、仮設建築物への避難は避ける。
- ・避難時は飛来物に注意する。

#### ●屋内では

- ・地下室、1階の中央部に近い窓の少ない部屋に移動する。
- ・窓やカーテンを閉める。
- ・飛来物によって窓ガラスが割れる危険があるので、窓際から離れる。
- ・部屋の隅、ドア、外壁から離れる。
- ・頑丈なテーブルや机の下にもぐり込み、両腕で頭と首を守る。

### ～「わが家の耐風診断チェック」をしてみよう～

#### ●損傷箇所は手当てを

そして、逃げ込む場所ということでは、普段からお住まいの各部の耐風診断を行って、損傷箇所や弱くなっている箇所を把握し、必要な手当てをしておくこともよいでしょう。

日本損害保険協会のホームページ (<http://www.sonpo.or.jp/>) にて「わが家の耐風診断チェック」で検索すると、簡単に診断チェックができます。

右のイラストの画面で、お住まいの耐風度に関する質問が、1問ずつ出題されますので、質問内容に沿って「YES」「NO」ボタンのどちらかを選び、クリックしていきます。すると、その答えから、今のお住まいについて、必要な手当てをアドバイスしてもらえというわけです。また、最後には、総合結果がレーダーチャートで表示され、お住まいのどの部位に弱点が多いかが確認もできます。

#### わが家の耐風診断チェック

下の点滅している①ボタンから順にクリックして診断項目に教えてください  
答えた項目ボタンは色が灰色に変わります



日本損害保険協会ホームページより

今後の本格的な台風シーズンを前に、一度試してみたいかがでしょうか。